

海外安全対策情報第3四半期（平成30年10月～12月） （カンタベリー地域）

治安情勢

1 ニュージーランド(NZ)国内全体の治安情勢

(1) 一般治安関係

NZ国内では、これまで大きな治安上の問題は起きていません。しかし、NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー（いわゆるギャング）同士の抗争も発生しているため、争いに巻き込まれることのないよう、繁華街等では特に注意してください。このほか、NZ国内での覚醒剤の押収量が前年比3倍増となるなど、薬物汚染が社会問題化していますので、留意してください。

(2) テロ関係

現在のところ、NZ国内においてテロリストの活動は確認されていませんが、国内には30から40名程度のテロ関係の監視対象者がいると言われていています。また、昨年、シリアに渡ったNZ人男性がテロ組織ISILの一員として戦闘行為に参加していることが明らかとなり、米政府によって特別指定国際テロリストに指定されました。

2 カンタベリー地域の治安情勢

(1) 一般治安関係

良識ある行動をしている限り凶悪事件に巻き込まれる可能性は低いですが、例えば夜間における窃盗・空き巣狙い等の被害（在留邦人を含む）、飲酒運転による事故被害、飲酒を伴うバーにおける暴力事案及び深夜路上での外国人等に対する暴行事件は度々発生しているので、注意が必要です。また、車の運転に不慣れな外国人旅行者による死亡事故等（対向車線はみ出し等、観光シーズンでは特に注意が必要）が起きており、問題となっています。

車上狙いが多く発生しているので車の駐車の際は、内部に荷物を置かず、かつ、あまり人通りのないところに駐車しないことなどに留意してください。

住居においては、防犯ベルを設置するなどの自衛手段を講じるとともに、日頃より隣人との交流を図る等により、平素から安全対策を心掛けることが必要です。

個人旅行者を相手にした詐欺まがいの事件が発生していますので、ツアー等を申し込む際は信頼できる会社かどうかをよく確認することが重要です。

クライストチャーチ市内のガソリンスタンド、コンビニエンス・ストア等でタバコや現金を狙った強盗事件が多発していますのでご注意ください。

(2) 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

ア NZ警察が発表した2017年11月～2018年10月のカンタベリー地域の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は13,011件と前年同期と比較して6.6%の減少となっています。主な犯罪種別の内訳は以下のとおりです。

殺人関連	14件（前期比	64.3%増加）
傷害関連	1,818件（同	0.4%減少）
性犯罪関連	153件（同	20.7%減少）
強盗関連	128件（同	5.2%減少）
空き巣関連	411件（同	4.6%減少）
窃盗関連	1,567件（同	16.4%減少）

イ 最近の殺人・強盗等凶悪犯罪の事案

- ・10月4日（木）午後10時頃、クライストチャーチ市のノースエイボン地区の酒屋で、ピストルと鉄の棒を持った男3名が押し入り、店員を脅しタバコ、現金を奪う強盗事件が発生した。
- ・10月23日（火）午後9時30分頃、クライストチャーチ市のレッドウッド地区のパブに拳銃、刃物、ドライバーを持った男3名が押し入り、天井に銃を発砲しながら店員と客を脅し、現金を要求する強盗事件が発生した。
- ・12月14日（金）午前11時頃、リカトン地区にあるキウイ銀行に男2名が押し入り、現金を要求する強盗事件が発生した。犯人逮捕。

（3）テロ・爆弾事件発生状況

なし

（4）誘拐・脅迫事件発生状況

警察当局の発表によれば、2017年11月～2018年10月までのカンタベリー地域で発生した誘拐・脅迫事件は439件（前年同期比20.9%減少）です。

（5）日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。

※ ニュージーランドの治安情勢全般については、在ニュージーランド大使館及び在オークランド総領事館の海外安全対策情報も御参照ください。

（了）